

# JDSF技術認定制度



公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟(JDSF)  
沖縄県ダンススポーツ連盟(JDSF 沖縄)

## JDSF 技術認定のご案内

- ・ 基本はできている？
- ・ きれいに踊れている？
- ・ どの位上達した？

こんなことを感じたら



- ・ 技術認定会
- ・ 技術認定講習会

### ・ 技術認定制度とは

- ・ ダンスを正しく、美しく踊れることができればもっと楽しくなります。
- ・ 現在の技術レベルを客観的に評価し改善する方向性を示してくれます。
- ・ 一つ一つの目標を定めてステップアップすることができます。
- ・ 上級者には公認指導員への道も拓かれておりモチベーションを維持することができます。

### ・ 技術認定会の内容

- ・ 受験者の演技について審査員が4つの審査項目を評価します。
  - (1)、全体的印象 (きれいに踊れているか)
  - (2)、ポイズとポスチャー (姿勢やホールドは?)
  - (3)、タイミングと音楽 (リズムにのっているか)
  - (4)、フィガー (各ステップがキチンとできているか)
- ・ 審査の結果は受験者にフィードバックされ、改善点が理解できます。

### ・ 技術認定講習会

- ・ 認定会に先立って技術講習会が開催されていますので受講してください。
- ・ 4つの審査項目のポイントを指導者が丁寧に指導します。
- ・ 技術認定を受験しない方も参加でき技術向上に役立ちます。

### ・ 上達への近道

- ・ 自分の欠点や改善ポイントがわかれば、上達への近道になります。
- ・ アマルガメーションは種目ごと、グレードごとに用意されており、初心者から上級者まで自分に合ったレベルで上達を図ることができます。

## 技術認定制度とは

公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟(JDSF)の技術認定規則に基づく制度です。

ダンスの競技活動を行っている方は、競技会への出場により、自分たちのレベルを知るとともに、次の競技会を目標にさらなる技術向上を図っています。

でも「競技活動は行ってないが、今のレベルを知り さらに 技術を伸ばして行きたい」と思っている方は大勢いらっしゃいます。生涯スポーツとして、人との交流が楽しみで、等々目的はさまざまですが、正しく、美しく踊れることができればもっと楽しくなることでしょう。

そんなダンス愛好家の方にピッタリな機会を提供してくれるものが技術認定制度です。

## 技術認定制度の特徴

- 受験には JDSF の会員であることが必要です。
- パートナーがない方も、1人で受験参加が可能です。
- ドレスや燕尾服は不要です。普段の練習着で OK です。
- 課題のステップは予め定められています。
- 技術認定会は「模範演技」「全体練習」「ペア1組、音楽に合わせての練習」の順で「講習」があり、直後「審査」があります。受験者は1～4名ずつのヒートで演技します。
- グレードごとに、決まったベーシックを中心としたステップでしっかり技術を学べます。
- 終了後、各項目ごとの評価も明示されるため、明確な目標とすることができます。

## 受験のメリット

- 基本的な要素を基準に、フットワーク、タイミング、ポイズ&ホールド、ムーブメント、リード、フォロー等々が身に付き、それが客観的に認定された資格として残ります。
- 客観的な審査の結果から改善点がわかり、今後の向上につながります。
- 技術認定会の合格者には JDSF から認定証が付与されます。
- グレード1の合格者は指導員の実技試験が免除となります。

## 技術認定アマルガメーション

- グレード、種目とのアマルガメーションはあらかじめ定められており、模範演技を収録したDVDも発売されています。
- 技術認定アマルガメーション（グレード6～1）
- 技術認定アマルガメーション（ハイグレードコース）
- JDSF が規定・推奨するフィガーとアマルガメーション（参考）
- 技術認定講習会も頻繁に行われていますので、これに参加することをお勧めします。

## 受験級について

- 順に、グレード6、5、4、3、2、1の6階級があり、スタンダード部門とラテン部門の全12階級があります。
- 受験はグレード6がスタートで、途中からや飛び級はできません。
- さらに、これらを修了された方については、種目ごとのハイグレードコースが用意されています。

## 評価のポイント

審査の視点は「ポイズ&ポスチャー」「タイミング&音楽」「フィガー」「全体的印象」の4項目に各3つの審査内容があり、全12区分で評価されます。

審査項目	審査内容
ポイズ&ポスチャー	背筋の伸び
	頭の位置と視線
	ホールドとポディポジション
タイミング&音楽	スタート時のタイミング
	ベーシック・タイミング
	音楽との一体感
フィガー	アライメント又はダイレクション
	フットワーク
	回転量
全体的印象	フロアーマナーなど受験態度
	スウェイ、CBM、サイドリーディング、ポディムーブメント、リード&フォロー、その他技術的基本動作
	種目の特徴、音楽の理解、感情表現、その他芸術的要素

各区分の評価は5段階で行われます。

5：大変よく踊っている 4：よく踊っている 3：特に間違いも無く踊っている  
 2：時々間違いをおかして踊っている 1：ほとんど間違っで踊っている

## 技術認定の区分・グレード

### 技術認定の 区分・種目・グレード

グレード6	スタンダード W T	ラテン R C	DVD グレード6・5・4
グレード5	スタンダード W T	ラテン R C	
グレード4	スタンダード W T	ラテン R C	
グレード3	スタンダード W T	ラテン R C	DVD グレード3・2・1
グレード2	スタンダード W T	ラテン R C	
グレード1	スタンダード W T	ラテン R C	